

議 事 録

会議名	令和3年度寒川町社会教育委員会議第1回公民館部会		
開催日時	令和3年6月24日（木）午後1時30分～午後3時30分		
開催場所	寒川町民センター 3階 講義室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：森委員(部会長) 堀委員(副部会長) 山口委員 欠席者：菊池委員 小泉委員 事務局：高橋教育政策課長 山口教育政策課副主幹 指定管理者：別府町民センター館長 佐々木町民センター副館長 堂前北部公民館副館長 渡辺南部公民館副館長 傍聴者：なし		
議 題	報告事項 (1)令和2年度公民館指定管理業務総括評価確定について (2)令和2年度公民館事業実績報告について 協議事項 (1)派遣委員の選出について (2)令和3年度公民館部会の協議テーマについて		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 森部会長 高橋教育政策課長</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼 森部会長 堀副部会長</p> <p>3. 報告事項 (1)令和2年度公民館指定管理業務総括評価確定について 事務局から資料2について説明</p> <p>【部会長】私が昨年度の外部モニターを担当しての感想ですが、1つはモニタリングをする時間が短かったこと。何も知らない状況で1回目に望み、確認事項のボリュームが大きかったので、受ける方としては大変だと思いました。時間が長ければいいということではないのですが。総じて、よくやられていると思います。臨時休館中はロビーの壁紙を張り替えるなど工夫をされていました。指摘事項についても速やかに対応されていました。年中定期的に利用をしているとまた気が付く点もあるのかもしれま</p>		

せんが、私の場合は講演会など限られた回数なので、外部モニターも他の方に変わるとまた違う視点が出てくるかと思います。

(2)令和2年度公民館事業報告について

事務局および指定管理者から資料3について説明

【部会長】ただいまの説明に対しましてご意見、質問があればお受けします。

【副部会長】コロナの時期の中、このように事業をされたことは大変結構だったと敬意を表します。講座はいろいろありましたが、公民館のサークル活動はどのような状況ですか。

【指定管理者】利用状況について本日は資料を出しておりませんが、基本的に高齢者の占める割合が大きいため、自主的に活動を休止しているサークルもいくつか見受けられます。なんとか継続したいと回数や人数で工夫をしているサークルもあります。

【副部会長】公民館を利用しているサークルは多いので、人数的にどうですか。事業や講座の実施状況はわかるのですが、サークルの状況はどうなっているのかというのが知りたいです。

【指定管理者】利用人数はコロナ禍で減っています。

【事務局】後ほどの協議事項のための資料4に公民館サークルの年度別利用状況を掲載しております。昨年度は4～6月半ばまで臨時休館となり、完全にサークル活動を中止していたことと、利用再開をしても秋頃までは自主的にサークル活動を休止するという声もよく聞きました。ただし、あまりにもコロナの状況が長期化するので、家にいるだけだとやはり寂しい、人に会いたいという気持ちになり、公民館まつりや文化祭など発表の機会はないけれど、サークル活動を再開したとの話も聞いています。

【副部会長】私もそのような話は聞いています。サークル活動が全然できなくなってしまったので寂しいという意見はありました。様々なサークルがあるわけですが、活動が止まっていて、事業としてはできないのかなと思います。

【事務局】合唱やカラオケ、運動など活動内容による部屋の制限は再開直後の6月末まで行っていましたが、7月からは内容による制限は解除しました。ただし、利用者側でマスク着用、手指消毒、部屋の換気など感染症対策を行い、責任をもって使用できるということを前提としております。部屋の定員は1/2としておりますので、人数の多い団体は時間を分けて、合唱サークルなどは全員集まらず、パートに分けて活動していると聞いています。

【副部会長】町の文化祭は今年も中止になりました。ただし、会場は仮予約してあるので、各団体独自で展示発表をしようという形をとれないか考えています。公民館サークルの活動報告があったら良いと思います。そういう話も聞きたいです。

【事務局】サークル活動状況は後ほど説明させていただきます。

【委員】サークル入会体験フェスタが11月に行われて、南部公民館の人数が多いようですが、今年のサークル入会体験フェスタは4月に公民館利用ガイドが配布された効果というのはありましたか？

【指定管理者】町民センターでは、ガイドを見ての問い合わせの電話が数本ありました。

【指定管理者】南部公民館でもそれらしき反応はありました。

- 【委員】** 入会者の増加には、公民館ガイドの効果もあったと考えられますか。
- 【指定管理者】** 今年5月のフェスタは町民センター・分室は低調でしたが、南北の公民館は参加が多かったため、効果が見られたと考えています。
- 【部会長】** 事業の内容について、コロナ禍ということもあるかと思いますが、年代別で幼児期の事業は南部公民館にはあって、町民センター、北部は無いので、たまたまなのか、元から少ないのか、地域性があるのかお聞きしたい。
- 【指定管理者】** 年代別の幼児期については、北部公民館は夏休み時期に事業の予定がありました中止となりました。町民センターは「ママとベビーのふれあい体操」という事業がありますが、これは親子対象のため成人期に入れていました。また幼児期向けの映画会を毎年行っていました、これはコロナのため中止としました。幼児期向けの事業が町民センターはもともと少ないということはありません。
- 【事務局】** 昨年度は夏休み時期の講座がすべて中止となったため、年度実績では幼児、青少年対象の事業が例年と比べて大幅に少なくなりました。確かに就学前の幼児期の事業が各公民館でこれまでも少ないようには感じています。事業のラインナップとしては幼児期向けも充実できると良いと思います。
- 【部会長】** 実績を見て、将来のことを考えて若い人が参加するような事業がもっと多い方がいいと思いました。
- 【指定管理者】** ご指摘のとおりだと思います。
- 【部会長】** 講師の都合などもありますが、ご検討いただきたいと思います。

4. 協議事項

(1)派遣委員の選出について

寒川町公共施設再編計画進行管理委員会…1名
森部会長を推薦

(2)令和3年度公民館部会の協議テーマについて

事務局からテーマ趣旨について、資料4に沿って説明。今年度の協議テーマを「公民館サークルの育成・支援について」と、協議内容を既存サークルの支援と新規サークルの育成の2点について提案。

- 【部会長】** 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、質問ありましたらお受けいたします。
- 【事務局】** サークル入会体験フェスタは11月にも開催予定です。それに向けて、公民館部会でもアイデアをいただけましたら、活かしていきたいと考えます。
- 【指定管理者】** 今年5月のフェスタでは、町民センターと分室はサークル加入者が1名もいないというのは反省すべき点だと思います。まだアイデアの段階ですが、開催期間中のロビーにスケジュールを掲示して随時参加してもらう方法のほかに、公民館で部屋を確保してサークルにデモンストレーションをしてもらうことも考えています。いくつかのサークル合同で、ジャンルが全く違うと難しいですが、ふらっと公民館に来た人が気軽に活動サークルの様子が見られるようではどうかということも思っています。

【副部長】 施設を利用するのは有料ですよ。

【指定管理者】 町民センターは利用者の会に加入していれば減免で無料になります。利用者の会に加入すれば無料となることはわかっていますが、あえて入らないで有料で利用している団体もあります。南北公民館はすべて無料です。

【委員】 昨年度、公民館まつりが中止となったので、北部公民館ではサークルが作ったものを展示していました。そのような展示もあって、5月のサークル入会体験フェスタは人が増えたのではないかなと思うのですが、いかがですか。

【指定管理者】 それもありますが、北部公民館ではフェスタの1ヶ月前の4月からスケジュールを貼りだして、早めの告知など動き出した効果もあったと思っています。

【指定管理者】 早めに各サークルの都合を聞くようにした方が良かったと思うのですが、今回初めて北部公民館が1ヶ月前からスケジュールを入れたポスターを広報掲示板に張りましたので、早めに動いて周知することが肝要だと考えます。

【指定管理者】 掲示板を見て来たという人もいました。

【委員】 そこで展示もあるといいと思います。これはおもしろそうだったらサークル入会体験フェスタに参加するきっかけになります。

【指定管理者】 ロビーに作品を飾っておくことも大事だと思います。

【委員】 文化祭でも盆栽や写真などありますので、そのような作品を展示していれば関心を持ってくれると思います。

【指定管理者】 何か別の仕掛けをしていかなくは厳しいのかなと思っています。

【事務局】 サークル入会体験フェスタの全体のポスターを資料につけています。北部公民館は時期をずらして、北部のサークルだけを紹介するポスターを掲示していました。

【指定管理者】 北部は昨年度のフェスタ参加者が低調だったことの反省として、今回このような動きをしましたので、今回は各館もこれを見習って工夫したいと思います。

【副部長】 今年度の公民館まつりは中止ですか。

【指定管理者】 8月に初回のまつり実行委員会の全体会議があり、そこで判断となりますので、まだ未定です。

【副部長】 公民館まつりですが、私も公民館サークルに入っている時は、公民館まつりの役員決めはよく揉めました。私のいたサークルの場合は会員で毎年輪番制にしていたのですが、今もそのようにやっているサークルはありますか。

【指定管理者】 役員は各館とも利用者の会から輪番制で出てもらっています。

【副部長】 そうですか。よく揉めていたので、この意見の中にもありますが、その役員をやるのが嫌で利用者の会に入らないというサークルもあるので、それはどうしたらいいのかと考えています。

【事務局】 そういう意見もありますが、たとえばPTAでも嫌々役員になったら、1年活動してみるとすごく良かったと見方が変わる人もいます。知り合いが増えることが良い点だと思います。公民館まつりの実行委員会も役員になって面倒だなと思うより、いつものサークルの仲間とは違う人々と交流できる、知り合いになれるということが良かったとポジティブに感じていただけるといいのですが。

【副部長】 そういう考え方に向かっていただけると楽なのですが、サークルの人数が多いところは会員の中で役が回ってくるのも何年かに1回で済みますが、人数が少ないところは会の中での協力体制が必要だと思っています。

【部会長】 私の個人的には令和2年度の意見の中での「認知を高める」という点で、公民館の見える化を図ることが必要だと思います。昨年、公民館ガイドを作られたこともまず一步ではありますが、ただこれで人が集まるのかということというものでもない。ちょっとクエスチョンだと思いますので、いろいろな形でこんなことをやっている、あんなことをやっているという PR をしていく必要があると思います。あとは情報媒体にしても、ある年代の方はやはり広報やポスターなどの紙媒体、若い年代の方は残念ながら公民館利用は少ないけれど、YouTube などの動画配信サービスといった辺りの充実をしていくのが良いと思います。公民館も YouTube を始められたので。ただし、それが見るためにはスマホやネット環境などが必要なもので、ガラケーの多い世代には見られないと言われるでしょうから、しばらくは紙とネットの2本立てでいかなければならないと思います。それから、小学生のイングリッシュキャンプについては、今回から英語の先生も増えて、小学校1・2年生クラスから開設するといった他と違う事業を行っていることを外部へもっと発信していかないといけないと思います。ミニコミ誌や新聞、場合によっては TV で取り上げてもらうと、町外の人が見て、その知り合いを通じて町民に伝わることもあるので注目度が上がると思います。夏休み中にやるということで、これは先生の負荷の部分も絡んでくるでしょうが、単発ではなく、学校とも塾とも違う英語学習に親しんでもらうこと、他とは違うことをすれば、公民館に目を向けてくれるのではないのでしょうか。

【委員】 質問をしてもいいですか。公民館サークル育成支援ということで、サークルの人数を増やすために、北部公民館では49サークル中、フェスタに参加が22と約半数ですが、参加しない理由はわかりますか。高齢者のサークルでこれまでの仲間だけでやりたいという理由もあるでしょうし、私の入っているスポーツ吹き矢は15人以上になると活動が難しくなるなど、人数を増やせない理由があります。他の公民館ではどのくらいフェスタに参加するサークルがあるのか知りたいことが1つと、南部公民館は昨年度6サークル増えています。そのいきさつがわかれば教えていただきたいです。

【指定管理者】 町民センターと分室は60サークルほどありますが、フェスタ参加は約半分でした。理由は同様で、今のサークルの人数で活動したい、高齢化も進んでいるので新たに増やしたくないといった入会体験フェスタ不参加の理由を聞いています。フェスタは平成29年度から実施していますが、参加サークルは年々減少傾向となっていて、これは同じ理由でサークルの高齢化で、サークル活動の間口を狭くしていることが一因だと見ています。

【指定管理者】 先ほどの吹き矢と同様に運動系サークルのヨガや体操などは人数が多くて、これ以上増やせないという状況もあります。活動場所の広さと会員数の兼ね合いもあるかと思います。

【委員】 だからといって自分から積極的にサークルを作ることは難しいですね。南部は新しいサークルが増えているようですが。

【指定管理者】 昨年増えた理由はコロナの影響です。学校体育館など他の施設を利用していた団体が南部公民館に流れてきて定期的に利用したいということで、利用者の会に入ってもらいました。体験フェスタについては先ほどの町民センターと同じ理由で、参加サークルは約半数です。参加しない理由が他の館のような運動系ではなく、どち

らかというと女性の趣味的なサークルが会員を増やしたくないと不参加が多いです。同じメンバーで活動したいというようです。

【委員】わかりました。難しいですね。

【部会長】人を増やすことは難しいですね。公民館サークルではないのですが、観光ボランティアガイドの活動でも、メンバーが増えない悩みがあります。入ってきた人はまず1年は教育期間で、1年経ったら人前でガイドしてもらおうのですが、その時には腰が引けて、だんだん居なくなってしまうという状況が絶えずあります。今年も4名の加入がありましたが、残って欲しいです。

【指定管理者】新しくできたサークルもある一方で、活動をやめたサークルも各館あります。これは新しい人が入ってこないのが高齢化して解散という場合が多いようです。

【指定管理者】簡単にいうと、増えた分だけ減っているような状況です。昨年度はコロナが引き金となり、この機にもう活動をやめようと思断したサークルも多く、最後の一押しとなってしまったようです。また調理実習のサークルは活動ができないからとやめたところもあります。

【部会長】サークル入会体験フェスタで加入者が増えたサークルはどのような内容が多いですか。

【指定管理者】5月の実績だと、裂き織、卓球、英語、ダンスなどでした。

【指定管理者】やはりテーマが魅力的であったり、新しいことをしたりしないと増えないように感じます。講座をきっかけに増えるといいと思いますが、新しいものを入れるにも、何がいいとはいえないので難しいです。

【事務局】回数の多い講座は参加者同士が仲良くなれるので、サークルに繋がるきっかけになることが多いと思うのですが、北部のスポーツ吹き矢は1回の講座でサークル化に繋がっているの、これはどのように話をまとめていったのでしょうか。何か秘訣があるのでしょうか。

【委員】これは講座に参加した人がもう1回くらいやりたいとの意見が多かったの、それならばやってみようかとサークルが立ち上がりました。やって楽しかったからだと思えます。

【事務局】もうちょっとやってみたいと皆さんが思うところがあったからでしょうか。そう感じられる内容だったからということですね。

【委員】健康にもいいというところが魅力的だったと思えます。ウォーキングも同じような理由ですが、こちらはコロナ禍なので、今年は全然活動ができていません。スポーツ吹き矢は続いています。

【指定管理者】これは参加した人の中で話をまとめてくださる方の力量が大きいと思えます。やっぱり講座内容が好評でもサークルにならない場合も多いです。誰かについていきますという人ばかりだと好評でもサークルになりません。

【委員】誰か音頭を取る人が必要ということですね。

【指定管理者】いくつかサークルになりそうなのだけど、音頭を取る人がいなくてサークル化に至らない現状があります。参加者に集まってもらってサークル化に向けて話し合ってもらっているものもありますので、公民館側からも背中を押して、定期的な活動ができるサークル化を勧めたいと思えます。

【委員】講座終了後にアンケートを書いてもらいますが、「楽しかった」とか「次回も

またお願いします」という声をひろって、もう1回講座を開いて、同じ人がきたら声をかけることもいいと思います。公民館の方でもサークル化に向けて音頭を取っていただけると、気持ちが高まるのではないのでしょうか。

【事務局】サークルの登録数はこれくらいあるのですが、サークル入会体験フェスタに参加する団体は半分しかなかったということで、活動場所のキャパシティが理由で増やせないサークルは仕方ないのですが、仲の良い人としか活動したくないというのは残念に思います。新しい方とコミュニケーションをとってくださることに目を向けていただきたいので、この秋のフェスタには参加サークルがもう少し増えるよう各館でサークルにぜひ声掛けをしていただきたいです。

【指定管理者】公民館サークルは開かれたもので、本来は来るものを拒まないことが大原則だと思います。

【指定管理者】サークルが参加を拒む理由は、技量が同じところに新しい人が入ってくるとギャップが生まれてしまうので、誰でもウェルカムとはいえず、一から教えるにはサークル活動がやりにくくなるという見方もあります。そういう背景のあるサークルには、公民館側でぜひ参加してくださいというだけでは難しいと思います。

【指定管理者】ただし、やはり新しい人が入ってきたら指導するという役割も必要だと思っています。そのままだと会員が高齢化して活動が立ちいかなくなりますので、本当は新しい人が入ってくるのがいいとは思いますが。参加者を増やしたい公民館側の思惑とサークル側の思いは違うとは思いますが。

【副部長】確かにベテランの人は初心者が入ってくるとつまらなくなったと感じてやめてしまう人もいます。私は社交ダンスのサークルに入っていましたが、入ってきた人はステップを全部覚えなさいといけません。それで新しい人に集中してしまうと、できる人はつまらなくなってしまうので、新規参加者を断ったこともありました。新しい人を指導してあげたいという気持ちもありますが、これまで活動してきた人がやめてしまうことはもったいない事情もありました。

【委員】フェスタ参加を断る理由を書くようになっていましたか。

【指定管理者】参加する、参加しないの記入だけなのですが、不参加の理由を書きたださるサークルがいくつかあります。欄を設けていないのですが、あった方がいいでしょうか。

【委員】それは何とも言えませんね。理由がわかるといいとは思いますが。

【指定管理者】差し支えなければ書いてください、としましょうか。

【部会長】素朴な疑問なのですが、町民センターや南北公民館でサークル同士の話し合いをする場はありますか。

【副部長】公民館まつりの時に各サークルに役が割り当てられるので、その時に他のサークルの方と交流機会はありますね。

【指定管理者】利用者の会の総会は全サークルに集まってもらっています。

【部会長】そのような時に情報交換で各サークルが抱えている問題点を出してもらってはどうか。

【事務局】公民館サークルはいろいろジャンルがありますが、分野別で地域で集まるのは文化連盟参加の各団体になるかと思います。先ほどありましたが、近年は繋がる力が弱くなっていて、自分たちのサークル活動だけに留まる団体が増えているように思

われます。他の人も入れたくないし、役員のなり手もないし、高齢化で活動がしぼんでしまうということが課題なので、違う人同士が知り合うきっかけとして、公民館まつりや、公民館活動は場として重要であると思っています。

【副部長】 公民館まつりで知り合った人とは今でもつながりがあります。利用者の会の会長もやったので、知り合いが増えました。

【事務局】 昔は寒子連といった子ども会活動やPTA活動をきっかけで知り合って、地域の公民館を使うようになったという現在シニア世代の女性の声はよく聞きます。次はシニアの男性が知り合う機会があればと思うのですが、公民館講座に参加する人は今も圧倒的に女性で、男性の参加が少なかったのですが、町民センターの歴史講座など、男性リピーターを獲得している状況もありますので、その方々をつなぐ仕組みができないかと思います。歴史サークルなどできるといいのですが、指導者が必要です。そういうことをきっかけに地域の歴史に興味があれば、例えば観光ボランティアガイドという活動もありますよと繋がる流れができるいいと思います。

【部長】 中学生世代に何かできないかとは個人的に思います。先日も教科書展示会に行き、社会科の教科書を見て、地域のことを学ぶ時に手伝いができないかと思いました。昨年も中学生が町内で史跡ウォークをしていたので、教員の方に声をかけてみようかとも思ったのですが、忙しそうなのでしませんでした。どういう情報を生徒が持って回っているか気になりました。若い人が公民館に来て活動して欲しいと思います。

【委員】 「公民館サークルの支援」というのは、公民館がサークルに何か支援をするという意味ですか。

【事務局】 例えばサークル会員が増えるように、公民館講座で育成講座を実施するといったことを考えています。

【委員】 そうということが支援となりますか。0から新しいサークルを作った方が、一番の育成になるとは思います。

【指定管理者】 公民館自体の周知も強化して、公民館活動をしてもらうよう促すことも必要だと思います。

【事務局】 「だがしや楽校」という事業では、地域で特技や知識のある人にブースを作って特技を披露するというものありまして、そこで講師をスカウトして、公民館講座の講師に登用して、サークル化につなげるという流れもあります。

【委員】 北部生涯学習推進員の事業でシニアクラスとして6～8講座を企画しているのですが、クラフトバンドのカゴ作りやヨガストレッチはサークルに声をかけて指導してもらおう予定です。講座でサークル体験をしてもらって、希望があればサークル加入してもらえれば楽しいのではないかと思っています。サークル入会体験フェスタのように、サークル体験の機会を増やすこともできたらと思っています。

【部長】 それでは時間もきておりますので、本日はこのあたりで協議を締めたいと思います。協議テーマはすぐに解決できれば良いのですが、難しいテーマだとは個人的には思います。委員の方には考えていただいて次回またご提案いただければと思います。

	<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の部会の開催予定について <ul style="list-style-type: none"> 第2回公民館部会 8月26日(木) 書面開催に変更 ・ 県社会教育委員連絡協議会、県公民館連絡協議会関係 <ul style="list-style-type: none"> 研修会（総合教育センター）9月13日(月) 倉本委員・森委員 <ul style="list-style-type: none"> 書面開催に変更 地区研究会（横須賀市）1月20日（木）森委員 県公民館大会（川崎市）1月28日（金）山口委員・堀委員 地区研究会（秦野市）2月14日（月） <p>6. 閉会</p> <p>堀 副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和3年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿</p> <p>資料2 令和2年度町民センター等指定管理業務総括評価票（最終確定版）</p> <p>資料3 令和2年度町民センター・北部公民館・南部公民館事業実績</p> <p>資料4 令和3年度公民館部会の協議テーマ「公民館サークルの育成・支援について」</p> <p>資料5 令和3年度寒川町社会教育委員会議日程（R3.6月時点）</p> <p>参考資料① 令和2年度寒川町民センター・町民センター分室・北部公民館・南部公民館利用者満足度調査結果報告書</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・ 森 和彦 ・ 堀 洋己</p> <p style="text-align: right;">（令和3年8月16日確定）</p>